

意見募集（パブリックコメント）の結果について

意見公募案件名	五泉市こども計画（案）
募集公募期間	令和 7 年 1 月 10 日（金）～2 月 10 日（月）
公表方法	市役所こども家庭課、村松支所地域振興課、市役所・支所の行政資料コーナー、五泉市立図書館・五泉市立村松図書館、市ホームページ ※個人情報是非公開とします。
問い合わせ先	五泉市こども家庭課子育て企画係 TEL 0250-43-3911 内線 297

寄せられたご意見等の件数

提出方法		件数	人数	新たに意見を反映したもの	その他
合 計		14 件	2 人	0 件	14 件
内 訳	電子メール	14 件	2 人		
	ファックス	0 件	0 人		
	郵送	0 件	0 人		
	持参	0 件	0 人		

寄せられたご意見、ご要望とそれに対する市の考え方

No.	寄せられたご意見・ご要望の概要	市の考え方
1	【五泉での子育てについて】 ◎五泉市で子育てをされていてよかったことをお伝えさせてください。こんなにいいところがたくさんあるんだよ、ってことを市内外へ広めてほしいです。 ①自然豊か 子育てには最高の地域です。大自然に触れることで、子どもの感性が刺激され、健やかな成長が期待できます。 ②食べ物が美味しい。水がいいので、野菜もお米も美味しいです！給食もすごく美味しいです。幸せなことです。 ③支援センターが 5 つもある とにかく乳幼児の子育ては、次から次へと不安や悩みが押し寄せてきますが、支援センターに行けば、同じようなママパパたちに会って安心できます。	ご意見、ご要望をいただきありがとうございます。 ①～⑤について 五泉市には豊かな自然・子育て環境や美味しい食べ物、温かい人々等たくさんの魅力があります。五泉市が大好きな気持ちと、楽しく子育てをしている様子が伝わり、嬉しく思いました。 これからも、もっともっと大勢の方から五泉市を好きになってもらい、楽しんで子育てできる人が増えるよう「こどもどもんなかごせん」を目指してこども施策を推進していきたいと考えております。 そして五泉市の魅力を随時発信していきたいです。

No.	寄せられたご意見・ご要望の概要	市の考え方
	たくさん居場所があって嬉しいです。職員のみなさんが本当に優しく寄り添ってくれて、どんな話も聞いてくれるので、たくさん救われました。 ④議員さんがたくさん寄り添ってくれる。 「おむつ替えスポット一覧があったらな」と話したらすぐに作ってくださった議員さん。「子育てイベントを開催するから、サポートしてほしい」とお願いしたら快く赤ちゃんたちを抱っこにおんぶにと、お世話してくださった議員さん。 2023 年の春、ラポルテで行われたさくらクラブの「子育て支援フォーラム」がすごく良かったです。毎年、開催してほしいです。市に直接声を届ける機会はめったにありません。貴重な機会を作ってくださったこと、本当に嬉しかったです。当日参加できなかった多くのママたちが「参加したかった」と残念がっていました。ぜひ第二回目の開催をお願いします。 ⑤母子保健推進員の皆さんが心強い子育てセミナーなどに参加した際、赤ちゃんたちの子守をしてくれて、安心して子どもと離れて「大人だけの時間」を過ごさせていただきました。たった1時間でも、我が子と離れる時間ができ、どれだけ心が穏やかになれたか、感謝してもしきれません。赤ちゃん訪問の際も、優しく、温かく、お話をしてくださり、本当に嬉しかったです。産後ブルーが軽くなりました。	
	◎次に、要望をお伝えさせていただきます。 【情報発信について】 ⑥必要な情報が親たちに届いていない。	⑥五泉市では、子育て情報や子育て支援制度等を集約した子育て情報専用サイト「ごせん

No.	寄せられたご意見・ご要望の概要	市の考え方
	子育て中は、とにかく時間がありません。ずっと疲れていて、ずっと寝不足です。広報やHPをじっくり読む時間すらとれないときがあるのも現状です。「公式LINE」や「Instagram」、「X」など、スキマ時間にサクッと見られるように工夫し、どんどんイベント情報や有益な情報を流してほしいです。	安心子育てにこにこサポートサイト（通称「にこサポ」）があります。 こどもに関する情報は「にこサポ」に掲載するとともに、「五泉市公式 LINE」や「Instagram」等で随時情報発信を行っております。なお、イベント情報等を受け取っていただくためには、「五泉市公式 LINE」に登録をしていただく必要があります。広く周知するため、こども家庭課からの封筒や、文書の中にQRコードを入れ、いつでも登録できるよう工夫をしております。今後も継続して周知するとともに、見ていただける情報を配信できるよう取り組みます。
	【パブリックコメントについて】 ⑦パブリックコメントが機能していない パブリックコメントは、市民の声を届けるチャンスなのに、そもそも存在を知らない人が多いです。「メール、FAX、持参」が難しい人もいます。これも、「公式LINE」などから、気軽にコメントページに飛んでいき、実行できたらと思います。	⑦現在、五泉市HPには掲載しておりますが、公式LINEでのお知らせはしておりません。ご要望のとおり、多くの市民の意見を聴くための方法について、参考とさせていただきます。
	【「こどもどまんなか」について】 ⑧「子どもど真ん中」について すごくステキな政策です。ですが、多くのママパパたちはみんな子育て・仕事・家庭・経済状況に悩み苦しんでいます。安心して子育てができるように、頼りになる存在を増やすなど、もっと工夫が必要だと感じます。 例えば、 ・お散歩や支援センターデビューに引率 ・買い物中の子守（県内のどこかのスーパーで実施しています） ・保育園や学校の先生たちの負担軽減のため人員の確保 ・おむつの助成（阿賀町）	⑧具体的に例示いただきまして、ありがとうございます。 今年度は、こどもたちが自分の今を考え、将来の思いや希望を言える場として、こどもの意見を聴くためのワークショップやこども市議会等を開催しました。 今後も継続してこどもたちの意見や要望を言える場を持ち、また子育てしている方々の声も聴きながら、こども施策を進めていきたいと考えています。

No.	寄せられたご意見・ご要望の概要	市の考え方
	【こどもの学ぶ場について】 ⑨学校が危機 ・時代の変化に合わせて、子どもたちの居場所を増やし、自由に学ぶ場を選択できるようにしていくべきだと思います。日本の若者の自殺者数は異常です。五泉市も他人事ではないです。フリースクールができたことも、希望です。ですが、通わせたくても経済的に厳しいという声があります。長野県のように、フリースクールやオルタナティブスクールなどの新たな学ぶ場の助成を求めます。未来ある子どもたちが「生きる希望」を持って前を向いて生きていてほしいです。 【大人たちについて】 そのためにまず、 ⑩大人たちが楽しく生きること 「五泉の大人たち面白い」 「早く大人になりたい」 「大人になったら楽しいことがたくさんできる」 そんな期待を持てる五泉市にしたいです。まずは、大人が全力で楽しく生き生きと過ごす姿を、子どもたちに見せて行けるといいと思います。 ⑪大人が学ぶ 子どもだけでなく、大人も学んで時代に合わせてアップデートして行けるような、魅力的なセミナーをどんどん行って欲しいです。 子どもをど真ん中に考えたら、大人もお年寄りも、誰もが幸せな社会になるはずです。 地域、家庭、保育園や学校 みんなで手を取り合って仲良く連携し、子どもたちを真ん中に囲み、温かく育む地域にしていきたいです。	⑨子どもたちを取り巻く社会環境は、同年代の人口の減少、家族構成の多様化、情報通信技術の普及・進展などめまぐるしく変化しています。こどもたちの健やかな成長に向けて、自由に遊び・学べる場（居場所）が必要であると考えています。 こどもの居場所については、こども・若者・子育て当事者等の意見を聴いていく中で、一番多い要望でありました。こども計画（案）により、進めていきたいと考えております。 ⑩・⑪について おっしゃるとおり、こどもたちだけではなく、子育てをしている大人や地域の人たちも日頃から楽しく生きることができれば、自然とみんなで手を取りあって仲良く連携し、こどもたちを真ん中に囲み、温かく育む地域となると思います。 こども計画は、すべてのこどもたちが幸せな生活を送ることができる社会を目指して、市や地域社会全体でこども施策の取り組みを進めることを目的としております。 五泉市こども計画（案）を策定するにあたり、市では、こども担当部局だけではなく、地域社会全体でこども施策に取り組むために、複数のこども関係部局からなる「庁内連携会議」を立ち上げ、一体となってこども施策に取り組む体制を立ち上げました。今後は、さらに、こどもたち・子育てをしている大人や地域の人たちの意見や要望を聴きながら取り組んでまいります。

No.	寄せられたご意見・ご要望の概要	市の考え方
	私のように、熱い思いを持っているママたちがたくさんいることも知っていてほしいです。地域みんなの力を集結したら、すごいパワーになり、きっと、未来はどんどん明るくなっていきますよね。 いつも五泉市のために、ご尽力くださる皆様に心より感謝しております。 2025 年は、時代の大きな変換期です。恐れず楽しみながら、軽やかに挑戦していく市政を期待しています。	ご意見・ご要望をいただきありがとうございます。すべてのこどもたちが健やかに成長し、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指してこども施策に取り組んでまいります。
2	求めること 【経済的支援について】 ⑫0～2 歳児の保育料無償化 ⑬乳幼児オムツ券発行(月 5,000 円程度) ⑭中学生までの給食費無償化(⑫～⑭の理由) ・現在、3 歳から保育料無償化となっているが、2 歳までの経済的負担が大きいため。 ・近隣の市町村では行っていない直接的な子育て支援を行うことで、他の地域から移住してくる子育て世帯が増えることが期待でき、五泉市の人口減少、少子化等を防ぐことができる。 ・初めは財政的に厳しい部分もあるかと思うが、長期的にみると、子育て世帯の人口が増えることで税収入も増えていくと考えられる。 ・現金給付などよりも確実に子育ての支えになり、結果的にこどもたちを守っていくことに繋がると考える。	ご意見、ご要望をいただきありがとうございます。 ⑫～⑭について 昨年度は、こども医療費助成の入院費助成を拡充し、令和 6 年度においては、児童手当の給付の拡充など、様々な子育てに係る経済的負担軽減を行っております。 ご意見は国や県等の動向も見ながら、今後の施策を検討する上で参考とさせていただきます。